



被災した家屋のブロック塀を解体した（8月20日、熊本県八代市で）



断水地域で給水活動に力を尽くした（8月8日、同）



被災家屋から災害廃棄物などを搬出、運搬した（8月7日、同）

「熊本地震」被災地で救援活動を展開

天理教災害救援ひのきしん隊

7月28日に発生した「令和8年熊本地震」。最大震度7を観測した熊本県内では、建物の全・半壊などの被害が約7千700棟に及び、いまなお多くの人が避難生活を余儀なくされている。天理教の災害救援組織である「災害救援ひのきしん隊」は8月以降、

被害の大きかった同県八代市や宇土市などへ継続して出動。「熱中症警戒アラート」が発表された日もあるなか、行政機関と連携して給水活動を続けたほか、被災した民家の家財道具の搬出やブロック塀の解体などに力を尽くした。

